

株式会社ミチコーポレーション ぞうさん出版事業部 様

編集・制作事例インタビュー

単行本『なにくそ！ライゾウさん』（編集・DTP・装幀・印刷入稿・色校チェック）

■ぞうさん出版：植田紘栄志 様

◆海風社：作井文子

◆今回初めて、弊社の編プロ部門にご発注いただいたわけですが、ご依頼のきっかけは何でしょう？

■それはぼくが書店営業をお願いしている方からの紹介です。僕のところはまだまだマンパワーが足りなくて、制作のスピードが上がらない。いい編集者がいれば、紹介してほしいとお願いしていました。

◆そうでした。植田さんから連絡いただいて、営業担当と二人で御社の芸北ぞうさんカフェに伺いました。

■わざわざ芸北まで来てくださって、もうその時点で有難いなと思いました。

◆今回は、単行本の編集・制作・装幀関係・印刷入稿・色校チェックまでやらせていただいたわけですが、どんな感じでしたでしょうか？作業のスピード感とか？

■実際のやりとりのなかで、遅かったのは僕らの方で、作井さんの方にわたってからは速かったですね。

◆ありがとうございます。原稿をつくりあげる作業の方が時間がかかりますからね。それから、打ち合わせはいつも ZOOM で著者の岡崎マサアキさんと植田さんと作井の三人でやりましたが、やりにくいと思われたこととかなかったですか？

■いや、やりやすかったですね。打ち合わせのあと、議論が足りなかったところや、ZOOM 中は気づかなかったこととか出てくるんですけど、僕がすぐ電話をしても気持ちよく受けてくれるし、対応も早かった。

◆ありがとうございます。では、反省点というか、ここはこうしてほしいかなという点がありますか？

■そうですね。デザインのバリエーションはもう少し見たかったところですね。

◆カバーデザインですか？

■はい。イラストを描いてくださる方が著者サイドにいらしてということもあって、最初からデザインがフィックスされていたように思います。

◆それは、カバーデザインにこのイラストを使わないデザインもご覧になりたかったということでしょうか？

■そうですね。例えば、フォントとかもクリエイターとしてはもっと見たかったかなと思います。

◆それについては、イラストが期待以上に内容にフィットしていて、中にもたくさん使いました。各章の扉や登場人物紹介など。その流れでこのイラストを使わない選択肢はなかったというところでしょうか。

■なるほど。確かに、でてきたイラストが良すぎた(笑)。今回はデザインより、内容に時間をかけたので、次はデザインの部分でどこまで広げられるかと



というのが、楽しみでもあります。

◆ありがとうございました。今後はもっとデザインのバリエーションを増やしていきます。

#### ぞうさん出版について（HP より）

---

世界で最も田舎にある出版社。ようこそ、ぞうさん出版へ。

私たちは、2018 年秋に広島県の山奥、北広島町芸北地域に誕生した小さな出版社です。

芸北地域は、田園風景が広がり、冬には 2m を超える豪雪に見舞われる田舎町です。空気はおいしく、夜は満天の星空が堪能できる素朴な地域ですが、少子高齢過疎化が深刻に進み、将来の存続が危ぶまれる限界集落を多く抱えています。

田舎が生き残るためには、世界とつながるしかない。田舎こそ世界に向けて情報発信をするべきだ、との思いから、ミチコーポレーションの新規事業として、『ぞうさん出版』という出版部門を立ち上げることになりました。

「アジア出版構想」と銘を打ち、日本の田舎から全国へ、そして韓国や中国などアジア各国へと本を届けていくことを目指しています。

「過疎だからこそファンキーに」を合言葉に、小さいながらも痛快で、過疎を吹き飛ばすような本づくりを目指して、日々情熱を注いでいます。みなさんに応援していただければ心強いです。

---

